

# 講座だより

第8号



【グループワークについて学んでいる様子】

10月15日(土)に富士市立丸火青少年の家で養成コースの第7回目を開催しました。第9回目の実習に向けて、グループで企画を考える最終段階です。講師にはしずおか環境教育研究会の柴崎千賀子氏、ホールアース研究所の角田氏を迎え、企画作成においてグループワークを行う意味や大切にしたいことなどを学びながら作業を行いました。

グループワークに必要な合意形成について学んだ後は、実際にフィールドの確認を行い、それぞれのグループでどのような企画が構成できるのかを話し合いながら、実習で使う場所を相談して決めました。グループワークに入る前には、講師から第9回目の参加者である小学生が「主体的、能動的な活動」になるように、体験が中心の企画を作成するように伝えられました。



【フィールド調査の様子】



【グループワークの様子】

午後からは各グループの「生き物」「大地」「葉っぱ」「木」という資源について、グループでどのようなテーマ(目的)にするのか相談し、実際のフィールドを調査しながら企画を作成しました。限られた時間の中で、テーマに合った体験はどのようなことができるのか等、グループ内でたくさんの意見を出し合いながら考える時間になりました。これまでの講座で学んだことに立ち返りながら真剣な話し合いが行われました。

## ＜発行元＞

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課 自然ふれあい班  
電話:054-221-2848 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp